

三次看護専門学校 授業要項

科 目	微生物学			担当講師名	中村 薫
学 科 名	学 年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	開 始 時 期
第一看護学科	1	A・B	1(45)	講義・実験	令和8年度 前期
科目目標・単元目標 私たちは、種々の微生物に囲まれて生きている。その中で、特に人に対して害を及ぼすものを選び、それら病原性微生物に関する基礎知識および現実の世界における生態を学習する。病原微生物に関する幅広い知識を習得することにより、将来の看護活動に役立てる。					
授業概要 微生物学の成り立ちからはじめ、微生物の種類、生態、人間との関わり、および免疫の分子メカニズムを解説する。さらに、病原性微生物の感染を防ぐ方法を実験を通して学ぶ。					
回数	時間数	内 容	回数	時間数	内 容
1	2	微生物学の基礎（1）病原菌	18	2	治療薬（1）
2	2	微生物学の基礎（2）病原性 の原因	19	2	治療薬（2）
3	2	細菌の性質（1）	20	2	新興感染症
4	2	細菌の性質（2）	21	2	感染予防とワクチン
5	2	真菌・原虫の性質	22	2	感染症の現状と対策
6・7	4	実験	23	1	感染症の現状と対策
8・9	4	実験			
10	2	感染のしくみ①			
11	2	感染のしくみ②	テキスト・参考書 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと ～〔4〕 微生物学 医学書院		
12	2	自然免疫			
13	2	獲得免疫			
14	2	抗体・粘膜免疫			
15	2	感染源・感染経路	成績評価の方法 筆記試験・小テスト・実習レポートの総合評価		
16	2	滅菌・消毒			
17	2	検査と診断			

※1回は90分(2時間)です。

三次看護専門学校 授業要項

科目			病理学		担当講師名		三次地区医療センター院長	
学 科 名			学年	時間数	時 期			
第一看護学科			1	15	令和8年度 前期			
科目目標・単元目標 病因と疾病による人体の形態や機能の変化を学び、各機能障害に関わる病態，診断・検査，治療を理解する。								
授業概要 病変と病因の特徴を理解する。								
授 業 内 容	回数				回数			
	1	病理学で学ぶこと 生活習慣と環境因子による生体の障害 先天異常			11			
	2	細胞・組織の障害と修復 代謝障害			12			
	3	循環障害			13			
	4	炎症と免疫 膠原病			14			
	5	感染症と病原微生物 主な病原体と感染症 感染症の治療と予防			15			
	6	腫瘍の定義と分類 悪性腫瘍の広がりや影響 腫瘍の発生病理，腫瘍の診断と治療			16			
	7	老化と死			テキスト・参考書 医学書院，病理学			
	8							
	9				成績評価の方法 ■ 筆記試験 □ レポート試験 □ 実技試験			
	10							

三次看護専門学校 授業要項

科 目		病理学各論 I		担当講師	市立三次中央病院医師、 クリニック花の里院長		
学 科 名	学 年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	開 始 時 期		
第一看護学科	1	A・B	1(20)	講義	令和8年度 後期		
科目目標・単元目標 酸素を取り入れ運搬する機能及び情報を処理して身体を動かす機能の障害の病態と診断, 治療を理解する。							
授業概要 1. 酸素を取り入れ, 身体の間々まで運搬する機能に関する病態と診断, 治療を理解する。(呼吸器・循環器系, 血液リンパ系疾患) 2. 情報を処理する身体を守る機能に関する病態と診断, 治療を理解する。(脳神経系) 3. 身体を動かす機能に係る病態と診断, 治療を理解する。(骨・関節・筋肉系疾患)							
回数	時間数	内 容		回数	時間数	内 容	
1	2	<呼吸器系疾患> 代表的な疾患の理解 ・慢性閉塞性疾患(COPD) ・肺がん ・気管支喘息 ・肺炎 ・肺血栓塞栓症		9	2	<骨・関節・筋肉系疾患 ①> ・骨折 ・脊髄損傷	
2	2			10	2	<骨・関節・筋肉系疾患 ②> ・変形性関節症 ・腰椎椎間板ヘルニア	
3	2	<循環器系疾患> 代表的な疾患の理解 ・虚血性心疾患 ・心不全 ・不整脈 ・高血圧, 大動脈瘤, 解離 ・ショック				テキスト 参考書 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学(呼吸器, 循環器, 血液・造血器, 脳・神経, 運動器)	
4	2						
5	2	<脳神経系疾患①> 代表的な疾患の理解 ・脳梗塞 ・クモ膜下出血 ・脳腫瘍 ・認知症					
6	2						
7	2	<脳神経系疾患②> 代表的な疾患の理解 ・パーキンソン病 ・ALS ・重症筋無力症 ・筋ジストロフィー		評価の方法 ☑ 筆記試験 □ レポート			
8	2	<血液系疾患> 代表的な疾患の理解 ・貧血 ・白血病 ・悪性リンパ腫 ・DIC					

※ 1回は90分(2時間)です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		病理学各論Ⅱ			担当講師	市立三次中央病院医師、庄原赤十字病院医師、JA吉田総合病院医師	
学 科 名		学 年	ｸﾗｽ	単位(時間数)	授業の種類	開 始 時 期	
第一看護学科		1	A・B	1(20)	講義	令和8年度 後期	
科目目標・単元目標 消化吸収、代謝に関する機能及び身体の内環境を整え身体を防御する機能の障害の病態と診断，治療を理解する。							
授業概要 1. 食物を取り入れ，消化吸収・代謝する機能に関する病態と診断，治療を理解する。(消化器系疾患) 2. 内部の環境を整え，身体を守る機能に関する病態と診断，治療を理解する。(内分泌系，腎・泌尿器系，免疫・感染疾患)							
回数	時間数	内 容			回数	時間数	内 容
1	2	<消化器系疾患 ①> 外科的治療が行われる消化器系に係る疾患の病態と検査，治療 ・食道，胃，胆のう，大腸 ・肝臓 ・膵臓			9	2	<腎・泌尿器疾患 ②> 泌尿器疾患(尿路結石，前立腺がん等)の病態，検査，治療
2	2				10	2	<免疫・感染疾患①> 膠原病，リウマチの病態，検査，治療
3	2						
4	2	<消化器系疾患 ②> 内科的治療が行われる消化器系に係る疾患の病態と検査，治療 ・食道，胃，胆のう，大腸 ・肝臓 ・膵臓			テキスト 参考書 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学(消化器，内分泌・代謝，腎・泌尿器，アレルギー・膠原病・感染症)		
5	2						
6	2	<内分泌系疾患①> 甲状腺疾患，痛風の病態と検査，治療					
7	2	<内分泌系疾患②> 糖尿病の病態，検査，治療			評価の方法 ☒ 筆記試験 ☐ レポート		
8	2	<腎・泌尿器系疾患 ①> 糸球体腎炎，ネフローゼ，腎不全の病態・検査，治療					

※1回は90分(2時間)です。

三次看護専門学校 授業要項 (実績)

科 目		病理学各論Ⅲ			担当講師		市立三次中央病院医師	
学 科 名		学 年	クラス	単位(時間数)	授業の種類		開 始 時 期	
第一看護学科		2	A・B	1(20)	講義		令和8年後期	
科目目標・単元目標 外部の情報を感知する機能及び生殖に関する機能障害に関する病態と診断, 治療を理解する。								
授業概要 ・外部の情報を感知する機能に関する病態と診断, 治療について理解する(眼, 耳鼻咽喉, 皮膚, 歯系の疾患)。 ・生殖に関する機能の病態と診断, 治療について理解する(生殖機能)。								
回数	時間数		内 容		回数	時間数	内 容	
1	2		＜耳鼻・咽喉＞ 耳鼻咽喉に係る疾患の病態, 検査, 治療 ・難聴 ・メニエール病 ・中耳炎 ・咽頭・喉頭がん 特殊な治療 ・気管切開		9	2	＜女性生殖器 ②＞ 2. 疾患の理解 ・月経異常 ・更年期障害 ・不妊症 ・性感染症	
2	2				10	2	＜女性生殖器 ③＞ 2. 疾患の理解 ・子宮頸がん, 子宮体がん ・乳がん	
3	2		＜眼＞ 眼(視覚器)に係る疾患の病態, 検査, 治療 ・白内障 ・緑内障 ・網膜剥離					
4	2							
5	2		＜歯・口腔＞ 歯・口腔に係る疾患の病態, 検査, 治療		テキスト 参考書 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学(眼, 耳鼻咽喉, 皮膚, 歯・口腔, 女性生殖器)			
6	2							
7	2		皮膚症状の理解 ・皮疹, 水疱, 紅斑, 鱗屑		評価の方法 ☑ 筆記試験 □レポート			
8	2		＜女性生殖器 ①＞ 1. 女性生殖器の構造と機能 2. 疾患の理解 ・性分化疾患 ・先天性の奇形					

※1回は90分(2時間)です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		病理学各論Ⅳ (看護の視点からみる病気)		担当講師	専任教員		
学 科 名	学 年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	開 始 時 期		
第一看護学科	1	A・B	1(45) ※前半24時間	演習	令和8年度 後期		
科目目標・単元目標 病理学で学習した知識を基に、患者に起きている病理的变化を看護の視点で理解する考え方を身につける。							
授業概要 この授業は、課題の事前学習を個人が主体的に学習し、それを基にグループで発表し合い理解を深め、全員が自分の言葉で説明できるよう個人＋グループでの学習活動を行う。 ・疾患の原因、防御反応、構造と機能の変化、症状、検査、治療、今後の成り行きについて病理的变化として理解する。 ・病理的变化をストーリーとして理解した上で、必要な看護の予測ができる。 ※疾患は、呼吸器・循環器系、代謝機能・内分泌系に関するものとする。							
回数	時間数	日程	内 容(前半)	回数	時間数	日 程	内 容(前半)
1	2		1. 病理的变化と疾病理解の看護学視点 2. オリエンテーションと学習のガイダンス	9	2		学習課題: 庄原さんに必要な看護を考えよう
2	2		学習課題: 庄原さんの病気の特徴と、その原因について理解しよう	10	2		学習課題: 庄原さんに起きている病理的变化と、必要な看護についてまとめてみよう
3	2		学習課題: COPDに関連する臓器の正常な構造と機能を確認し、庄原さんに生じた防御反応と病理的变化について理解しよう	11	2		
4	2			12	2		学習課題: グループ毎に学習の成果を発表して理解を確実にしよう
5	2		学習課題: 庄原さんに行われた検査から分かることを挙げてみよう	テキスト 参考書 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 呼吸器			
6	2						
7	2		学習課題: 治療の目的及び今後の予測について考えてみよう	評価の方法 □ルーブリック評価表に基づく評価			
8	2						

※1回は90分(2時間)です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		病理学各論Ⅳ (看護の視点からみる病気)		担当講師	専任教員	
学 科 名	学 年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	開 始 時 期	
第一看護学科	1	A・B	1(45) ※後半21時間	演習	令和8年度 後期	
科目目標・単元目標 病理学で学習した知識を基に、患者に起きている病理的变化を看護の視点で理解する考え方を身につける。						
授業概要 この授業は、課題の事前学習を個人が主体的に学習し、それを基にグループで発表し合い理解を深め、全員が自分の言葉で説明できるよう個人＋グループでの学習活動を行う。 ・疾患の原因、防御反応、構造と機能の変化、症状、検査、治療、今後の成り行きについて病理的变化として理解する。 ・病理的变化をストーリーとして理解した上で、必要な看護の予測ができる。 ※疾患は、呼吸器・循環器系、代謝機能・内分泌系に関するものとする。						
回数	時間数	日程	内 容(前半)	回数	時間数	内 容(前半)
1	1		1. 病理的变化と疾病理解の看護学視点 2. オリエンテーションと学習のガイダンス	9	2	⑤必要な看護の理解
2	2		①病気の特徴と原因について 2型糖尿病の特徴 2型糖尿病に罹患した原因 肝硬変の特徴 肝硬変に罹患した原因	10	2	発表資料作成
3	2			11	2	グループ発表
4	2		②正常な構造と機能をふまえて、病気で生じた病理的变化について 障害を受けた臓器における防御反応 病理的变化について			
5	2			テキスト 参考書 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 呼吸器		
6	2		③行われている検査とその意味の理解			
7	2		④行われる治療と今後の予測(合併症)の理解	評価の方法 □ルーブリック評価表に基づく評価		
8	2					

※1回は90分(2時間)です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		薬理学			担当講師名		平野 真		
学科名		学年	クラス	単位(時間数)	実 施 時 期				
第一看護学科		1	A	1 (30)	令和8年9月28日～令和9年 2月15日				
科目目標・単元目標 薬物の作用メカニズムを理解し、その特徴と作用、副作用を理解する。									
授業概要 主な疾患の治療に用いられる薬物の特徴とその作用、副作用を理解し、薬物療法における患者のケアに必要な基礎知識を修得する。									
回数	月 日	時間数	内 容		回数	月 日	時間数	内 容	
1	9/28	2	薬理学総論1 ・薬理学とは ・薬物とは		11	12/21	2	薬理学各論8 ・消化器系作用薬	
2	10/5	2	薬理学総論2 ・薬が作用する仕組み ・薬の体内動態		12	1/18	2	薬理学各論9 ・生殖器系作用薬 ・泌尿器系作用薬	
3	10/26	2	薬理学総論3 ・薬物相互作用 ・薬の有益性と危険性		13	1/25	2	薬理学各論10 ・代謝系作用薬	
4	10/26	2	薬理学各論1 ・抗感染症薬 ・消毒薬		14	2/8	2	薬理学各論11 ・皮膚科用薬 ・眼科用薬	
5	11/2	2	薬理学各論2 ・抗がん薬 ・免疫治療薬		15	2/8	2	薬理学各論12 ・救急で使用する薬物 ・漢方薬	
6	11/9	2	薬理学各論3 ・抗アレルギー薬 ・抗炎症薬						
7	11/16	2	薬理学各論4 ・末梢神経系作用薬		テキスト・参考書 系統別看護学講座 薬理学 (第16版、医学書院、ISBN：978-4-260-06200-8)				
8	11/30	2	薬理学各論5 ・中枢神経系作用薬						
9	12/7	2	薬理学各論6 ・循環器系作用薬		成績評価の方法 ☒ 筆記試験 ☐ レポート試験 ☐ 実技試験				
10	12/14	2	薬理学各論7 ・呼吸器系作用薬						

※1回は90分(2時間)です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		薬理学			担当講師名		平野 真		
学科名		学年	クラス	単位(時間数)	実 施 時 期				
第一看護学科		1	B	1 (30)	令和8年9月28日～令和9年 2月15日				
科目目標・単元目標 薬物の作用メカニズムを理解し、その特徴と作用、副作用を理解する。									
授業概要 主な疾患の治療に用いられる薬物の特徴とその作用、副作用を理解し、薬物療法における患者のケアに必要な基礎知識を修得する。									
回数	月 日	時間数	内 容		回数	月 日	時間数	内 容	
1	9/28	2	薬理学総論1 ・薬理学とは ・薬物とは		11	12/21	2	薬理学各論8 ・消化器系作用薬	
2	10/5	2	薬理学総論2 ・薬が作用する仕組み ・薬の体内動態		12	1/18	2	薬理学各論9 ・生殖器系作用薬 ・泌尿器系作用薬	
3	10/19	2	薬理学総論3 ・薬物相互作用 ・薬の有益性と危険性		13	1/25	2	薬理学各論10 ・代謝系作用薬	
4	10/19	2	薬理学各論1 ・抗感染症薬 ・消毒薬		14	2/15	2	薬理学各論11 ・皮膚科用薬 ・眼科用薬	
5	11/2	2	薬理学各論2 ・抗がん薬 ・免疫治療薬		15	2/15	2	薬理学各論12 ・救急で使用する薬物 ・漢方薬	
6	11/9	2	薬理学各論3 ・抗アレルギー薬 ・抗炎症薬						
7	11/16	2	薬理学各論4 ・末梢神経系作用薬		テキスト・参考書 系統別看護学講座 薬理学 (第16版、医学書院、ISBN：978-4-260-06200-8)				
8	11/30	2	薬理学各論5 ・中枢神経系作用薬						
9	12/7	2	薬理学各論6 ・循環器系作用薬		成績評価の方法 ☒ 筆記試験 ☐ レポート試験 ☐ 実技試験				
10	12/14	2	薬理学各論7 ・呼吸器系作用薬						

※1回は90分(2時間)です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業概要

科 目		治療論		講義・演習	担当講師名	非常勤講師 専任教員	
学 科 名		学年	単位 (時間数)	開 始 時 期			
第一看護学科		2年	2単位 (45時間)	令和8年前期			
科目目標・単元目標							
麻酔・放射線及びリハビリテーション医学の理論と方法を理解する。 がんの病態と治療の方法について理解する。 がん治療中の患者への支援の在り方を考察する。							
授業概要							
各治療についての理論と実際を人体への作用をふまえて理解する。							
回数	月日	時間数	内 容	回数	月日	時間数	内 容
1		4	Ⅰ リハビリテーション医学 1 リハビリテーションとは リハビリテーションの役割と実際 * リハビリテーション医 (広島大学病院)	16		2	Ⅳ がんの治療 1 がんの病態と治療の概要 (三次中央病院医師)
2				17		2	
3		4	2 理学療法の実際(4時間) * 理学療法士(庄原赤十字病院)	18		2	3 がん治療演習 がん治療を受ける人の病態と治療の理解 (演習)
4				19		2	
5		4	3 作業療法の実際(4時間) * 作業療法士(庄原赤十字病院)	20		2	(演習)
6				21		2	
7		4	4 言語聴覚療法の実際(4時間) * 言語聴覚士(庄原赤十字病院)	22		2	(演習)
8				23		1	45分(演習)
9		2	Ⅱ 麻酔 1 麻酔とは、侵襲理論 * 麻酔医(三次中央病院)	テキスト・参考書			
10		2	2 全身麻酔 * 麻酔医(三次中央病院)	1～9回 リハビリテーション医療入門(医学書院) 9～12回 臨床外科総論(医学書院) 13～23回 がん看護学(医学書院)			
11		2	3 局所麻酔 * 麻酔医(三次中央病院)				
12		2	4 麻酔導入時の看護について * 手術看護認定看護師 (県立広島病院)	成績評価の方法			
13		2	Ⅲ 放射線 1 放射線の性質と医療放射線被ばく * 非常勤講師	☒ 筆記試験 ☐ 演習への取り組みと成果物 ☐ 演習の確認テスト			
14		2	2 がん放射線治療と看護 * 放射線認定看護師 (三次中央病院)				
15		2					